「ふくしまで働く」は福島県内外に避難されている皆様や福島で働きたいと 思っている方々に対して、就労、雇用の視点から福島県内外の支援策や求人情 報等を発信するために厚生労働省福島労働局が発行している広報紙です。

特集

被災自治体首長からの メッセージ

·震災後のわが社 社会福祉法人伸生福祉会

福島県雇用情勢(平成30年10月)

職業対策課発行

有効求人倍率(受理地別) 1.50倍(全国28位) (就業地別) 1.66倍(全国24位)

求人数は復興需要のピークアウトの影響はあるが、多くの業種で人手不足の 状況が継続しているため高水準を維持し、仕事が探しやすい状況にあります。 個別の求人は、全国のハローワーク、インターネットで検索ができます。

※有効求人倍率/ハローワークで仕事を探す人1人に対し、何人分の求人があるかを示す指標。 1を上回っていれば、仕事を探す人より仕事の数が多いことになります。

復興にかける想い・避難されている方へのメッセージ



大熊町

渡辺 利綱 町長

東日本大震災、東京電力福島第一原発事故から7年半が過ぎました。いまだ全町避難が解かれず、町民の皆さまに古里を離れての暮らしを強いておりますこと、大変心苦しく感じてお

ります。また、震災直後から現在に至るまで、私たちに温かいご支援をいただき、行き場を失った町民を受け入れてくださった県内外の市区町村の皆さまに、改めて感謝を申し上げます。

町内ではようやく復興への光が射し始めました。来春、復興拠点の 大川原地区で町役場新庁舎が開庁し、来たるべき避難指示解除に先駆 けて町内で本格的に業務を再開します。隣接地には商業施設や福祉施 設、復興公営住宅の建設も予定しております。大川原と中屋敷の両地 区では今春、準備宿泊が始まりました。町面積の6割を占める帰還困難 区域内に特定復興再生拠点区域が設定され、5年をめどに帰還できる環 境を整備するため除染などの作業が始まりました。

7年を超える年月はあまりにも長く、すでに帰還を諦めた方も数多くおられます。ただ、その方の中には、戻らなくても町とのつながりは維持したいと願う方が少なくありません。古里を取り戻すための取り組み同様、町を離れざるを得なかつた皆さまへの支援は、今後も我々にとって最重要課題であり続けます。様々な情報を発信し、大熊町民としての絆を感じていただけるよう努力します。そして将来、そうした方々がもう一度戻ってみたいと思っていただける町に再生するため、復興の歩みを止めることはありません。

町内では廃炉や除染、復興拠点の整備、中間貯蔵施設の稼働などに携わる数千人の方々が日夜作業に当たっています。このため「全町避難が続く町」であるものの、日中は多くの人や車が行き交います。帰還を望む町民以外に、こうした方々が町に生活の拠点を求め、新たな町民となるケースも想定されます。以前からの町民、新しい町民、これらの方々が快適に暮らすための環境を整えることも、私たちが力を注がなければならない課題です。

震災からこれまで、町の職員は限られた人員の中、震災前に想像もできなかった困難で膨大な業務に当たってきました。避難先で困っている町民のため、大きな被害を受けた町再生のためという使命感が職員たちの原動力となって、任務に突き進ませています。しかし、残念ながら、体調を崩したり家庭の事情などがあるなどして、志半ばにして退職を余儀なくされる職員もおります。一方、震災後新たに仲間入りした職員の中には、町の出身ではない者も数多く含まれていますが、町民の支援と町復興という同じ志のもと、日々の業務に当たっています。

このような体制のもと、少しでも町民に寄り添えるよう、一歩でも復興に近づくよう、今後も懸命に努力していきますので、引き続き温かいご支援をお願いいたします。



双葉町

伊澤 史朗 町長

双葉町は福島県の浜通りのほぼ中央、双葉 郡の北東部に位置し、東に太平洋をのぞみ、 「白砂青松」白い砂浜と松林の恵まれた環境

で、また水質も良いことから環境省の「快水浴場百選」に認定された 双葉海水浴場があり、西には緑豊かな阿武隈山系があり、海と山に 抱かれた豊かな自然を誇る美しい町です。

しかし、平成23年3月11日の東日本大震災と福島第一原子力発電所の事故により7年7カ月が過ぎた今もなお、全町避難が続いております。そのような中、帰還困難区域の取り扱いに関する政府方針を受け、特定復興再生拠点区域復興再生計画が内閣総理大臣の認定を受けたことから、2020年春頃の避難指示解除準備区域とJR双葉駅周辺等の避難指示解除を目標とし、除染・建物解体、インフラ復旧などの帰還環境整備に集中して取り組んでいるところです。ようやく双葉町にも復興の槌音が響くようになり、希望の光が見え始めてきました。

町の復興の先駆けとなる「働く拠点」として中野地区復興産業拠点の整備を進め、本年1月に着工し、現在は着々と造成工事が進んでいます。

また併せて、地元雇用の創出につなげるため、中野地区復興産業拠点内に立地いただく企業の募集を進めてきたところですが、今年8月にオーディオ機器やパソコン関連のテスト用メディア、産業炉の断熱材などを生産しているほか、カーボンファイバー加工など新分野進出などにも積極的に取り組んでいる株式会社アルメディオと企業立地協定を締結し、9月には道路舗装材の製造を行う地元企業である双葉住コン株式会社と、東京に本社がある大林道路株式会社が共同企業体を設立して中野地区復興産業拠点への企業立地協定を締結いたしました。

さらに、立地を希望している約20社の企業との協定締結に向けての協議を進めているところです。

常磐道自動車道双葉インターチェンジ(仮称)が2020年春頃の完成、供用を目指し工事が進められており、完成した折には復興の加速化や利便性向上に大きく寄与するものと期待しております。

今後も双葉町復興のため復興まちづくり計画(第二次)の具現化を図り、震災前よりも豊かで安全・安心して生活できる魅力ある町を目指して鋭意取り組んでまいりますので、皆さまのご支援とご協力をお願いいたします。

福島雇用促進



福島広域雇用 促進支援協議会とは

東日本大震災からの復興の一環と して、雇用対策・就職支援の面から 福島を支えていくために、福島県、 被災12市町村、経済団体等で構成 する団体で、平成25年度から福島 労働局の福島雇用促進支援事業を 受託しています。

福島県と被災12市町村を主な会員とする<mark>福島広域雇用促進支援協議会</mark>が福島労働局からの委託を受けて避難者の 帰還就労のために様々な事業を実施しております。

二本松市 郡山市 新地町 いわき市

福島県商工会 連合会 福島県商工会議所 連合会 福島県中小企業 団体中央会 福島県相双地方

振興局

福島労働局

福島広域

厚生労働省

雇用促進 市町村・県 支援協議会

地域の **経済団体** 経済団体 (オブザーバー)

南相馬市 楢葉町 葛尾村 大熊町 川俣町 富岡町 双葉町 飯舘村 福島県

> 船引町商工会 広野町商工会 常葉町商工会 楢葉町商工会 都路町商工会 富岡町商工会 大越町商工会 川内村商工会 滝根町商工会 大熊町商工会 原町商工会議所 双葉町商工会 鹿島商工会 浪江町商工会 葛尾村商工会 小高商工会 川俣町商工会 飯舘村商工会

就職への道!! 南相馬市



Step 合同就職面接会in南相馬に 参加したきっかけ

> 仕事を辞めて、20日くらい経っていて、次の仕事に就くために就職活動を している最中でした。そんな時に、面接会のTVCMをみた父親から、行っ

てみたらどうかと勧められて参加しました。

Shep 合同就職面接会in南相馬に 参加した感想

● 介護、建設、土木、事務、接客などのブースに行きました。一対一で個別

に話ができ、聞きたいことを自由に質問できました。企業の方が、わかり

やすく説明してくれたので、満足のいく面接会でした。

Step 合同就職面接会in南相馬に 参加した後の変化

参加後に就職できたことは、変化として一番感じていることです。休暇や 給与面を重視して探していましたが、その質問にもきちんと答えてくれた

会社は、「いい会社だな」と感じました。そういう思いになったことで『経

Step 就職先を決めた理由

避難先の

自治体

(オブザーバー)

- 地元である、南相馬市に就職したいと思っていました。この会社に決めたの は、ブースで話をきいた時に、"接客が、楽しそう!!"と思えたからです。
- 他にも、接客業の会社はありましたが、その中でも一番楽しそうだと思え
- る仕事内容でした。経験はなかったのですが、話をきくうちに、『やりた
- い!』という気持ちが湧いてきて、応募しました。

Step 今後の目標

5

就職したばかりで、仕事を覚えることで精いっぱいですが、早く一人前に

なれるように、頑張っていきたいです。

就職活動中の方へメッセージ

特にやりたいことがなくても、行動してみると、自分にできそうな仕事がみ つかるかもしれません。とりあえず行動してみると、就職に繋がる可能性も ありますので、頑張ってください。

ょーし、郡山面接会△

2019年

福島県内外(相双地方除く)に お住まいの方へ

福島県相双地方交通費等助成事業 交通費と、宿泊費の助成あり!! 詳しくはお問い合わせください。

大人の

「もっと気軽に企業の 人と話してみたい…」



そんなアナタに朗報!!

実は、面接会は 就職への





企業の方からアプローチ されるかも!?

応募する時の参考にも なるんじゃないかな!

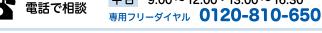
福島県内への 就職相談はコチラへ!

平日 9:00~12:00 · 13:00~16:30





`ンターンシップは~|| いかがですか? ※ 福島県内 440以上の登録事業所の中から選べます

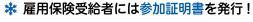






A3

実習期間 1日から3日~1日だけ・見学だけもOK!







お問い合わせ先等

福島広域雇用促進支援協議会 福島統括窓口 FAX:024(524)2125 TEL:024(524)2121

田村窓口 0247(61)5585 広野窓口 0240(23)5586

窓口で相談

事前予約制

南相馬窓口 0244(26)7690 楢葉窓口 0240(23)6290

働きたいネット

ホームページ アドレス https://fkkoyou.net/

f https://facebook.com/fkkoyou/









震災後のわが社 社会福祉法人伸生福祉会

【特別養護老人ホーム長寿荘 けやきデイサービスセンター】 ~人材育成による職員満足度の向上をもって福祉文化の創造~

【事業所紹介】 所在地:福島県南相馬市 事業内容:老人福祉·介護事業

2011年3月11日、東日本大震災、福島第一原発事故により特別養護老人ホーム【長寿荘】は、緊急時避難準備区域により避難を余儀なくされました。要介護度の高い【長寿荘】利用者の避難は、自分でものを食べることが困難な方、腹部から胃にチューブを入れて経管栄養の利用者の方など、死を覚悟の上での避難となり、栃木県の介護施設に第1陣、2陣、3陣に分散いたし、入所者総勢56人が避難いたしました。

避難介護施設でのご利用者の避難生活においては、つらい時期の中、避難施設介護職員・スタッフの方々から、明日へ向かうパワーと介護サービスを届けていただき、生きて行く勇気と心温まるご支援を賜りました。

避難区域の解除により、2011年11月1日より施設を再開し、46名のご利用者が【長寿荘】に戻り、入所者の皆さんと心を一つにして、職員全体で力を合わせながら、思いやり・助け合い・共に協力し合って、施設理念であります【楽しく・やさしく・共に】を踏まえ地域福祉の拠点施設として、地域から愛され、親しまれる施設づくりに取り組んでいます。

福島県相双地域介護職員等の応援事業では、平成24年7月1日から平成28年3月31日の期間、福島県社会福祉協議会が仲介し、沖縄県、九州地方、兵庫県、京都府、山形県、秋田県、北海道から総勢240人の方々を、応援職員として【長寿荘】で迎え受け入れし、介護サービスを担っていただきました。

応援職員の温かいご支援により、今日まで入所サービスの制限もせず、震災前の事業を維持し取り組むことができました。これも偏に、全国各地からの応援職員の賜物であり救いの神であり、ここに改めて深く敬意を表し感謝申し上げるものであります。

福祉・介護事業者は、「幸せ」「感謝」という気持ちを生産する仕事であり、生産性がある限り福祉・介護は必要なものであり、超高齢社会に対応できる有為な仕事です。

生産性の高い仕事ということは、福祉・介護事業の場合で捉えてみると「サービスの提供量」に対して「利用者満足度」の割合が高いほど、福祉・介護事業における生産性の高い老人福祉施設と言えます。

介護事業所が成長産業と相俟って、介護サービスを提供しているのは、介護 スタッフです。つまり介護サービスの充実、質の向上を図るためには、そのサー ビスを提供するスタッフ自身が自分の仕事や待遇に満足していないと、充実し たサービスの提供ができないというのも事実として考えられます。スタッフの 「ココロの充実」「働く職場環境の改善」に取り組まなければなりません。職員満足度を高めることなしに、利用者満足につなげることは難しいです。

それでは、働く職場環境の改善・整備とは何を行えばよいのでしょうか?職場では労働基準法や就業規則が働く上での基本的なルールになります。中でも就業規則については、社会福祉法人としての組織運営において大変重要な法令・遵守になってきます。

就業規則は、社会環境に柔軟に対応できるコンプライアンスとして、必要に応じ見直し・改善も必要になってきます。働く職員・スタッフには、ルールや体制などにより、働く土台が安定し、安心して働くことができる職場づくりが何よりも不可欠であります。

その上で、良好な人間関係の構築にも取り組んでいかなければなりません。 また、働き方改革による質の高い職場環境の形成には、なくてはならないもの に人材育成が何よりも必要であります。

「人材育成」によってサービス提供の質を上げるということは、「ひとの質を上げる」方法の一つが研修による教育だと思います。「人材」を「人財」にするための職員教育が何よりも重要です。人材の採用、人材教育、人材育成、人材の定着の仕掛けを持って職場環境を構築いたしながら、職員満足度を高めなければなりません。

介護という仕事は新3K「希望、感動、感謝」です。ご利用者の希望を叶え、ご利

用者が目標を達成したときの感動を一緒に味わい、ご利用者、家族から感謝される仕事です。少しでも多くの「希望、感動、感謝」が感じられる福祉・介護事業所づくりは言うまでもありません。

結びに、最高の社会貢献を担う高齢者施設として「よし、やってみよう」を実践しながら、地域から必要とされ、愛され・親しまれる福祉文化を創造する介護施設事業所として、発展しなければなりません。



常務理事兼施設長 志賀 敏伯





「福島就職支援コーナー」設置ハローワーク

加点目	da IIr	/ - =r	TEI
都府県	名 称	住所	TEL
宮城県	ハローワーク仙台	仙台市宮城野区榴岡4-2-3 仙台MTビル4F	022(299)8811
山形県	ハローワーク山形	山形市桧町2-6-13	023 (684) 1521
	ハローワーク米沢	米沢市金池3-1-39 米沢地方合同庁舎内	0238(22)8155
埼玉県	ハローワーク行田	行田市長野943	048 (556) 3151
東京都	ハローワーク品川	港区芝5-35-3	03(5419)8609
新潟県	ハローワーク新潟 ときめきしごと館	新潟市中央区弁天2-2-18 新潟KSビル1F	025(240)4510
	ハローワーク柏崎 まちなか相談室	柏崎市東本町1丁目15-5 フォンジェ SC棟地下1F	0257(24)0810
大阪府	ハローワークプラザ難波	大阪市中央区難波2-2-3 御堂筋グランドビル4F	06(6214)9200

<「福島就職支援コーナー」設置ハローワーク連絡先>

ふるさと・ふくしま合同就職面接会 in 郡山 2018 開催しました!







「ふるさと・ふくしま合同就職面接会in郡山2018」が平成30年 11月9日(金)、ビッグパレットふくしまで行われました。

この面接会は、福島労働局主催、福島県の共催で実施され、福島 県内に立地する51社が参加しました。帰還者やUIJターン希望者が 集まり、熱心に説明を受ける姿が見られました。

この面接会では、企業の他に、ハローワーク郡山による相談ブー ス、福島県(ふるさと福島就職情報センター、ふくしま生活・就職応

援センター)、福島広域雇用促進支援協議会、公益財団法人福島相双復興推進機構(福島相双復興官民合同チーム)の ブースを設けました。

ふくしまで働こう 🚾 埼玉(仮)

日時

場所 加須市市民総合会館 市民プラザかぞ

内容(仮) ●お仕事相談

●帰還·移住支援の紹介 「ふくしまの今」の紹介





13:00~16:00



特集し、地域内外の求職者 の方々とのマッチングを

実績多数!

田村市

南相馬市

川俣町

広野町

楢葉町 富岡町

川内村

大熊町

双葉町

浪江町

葛尾村

飯舘村

経済産業省委託事業 福島求人支援チーム応募事務局

事業運営会社:株式会社ビズリーチ

協力:厚生労働省福島労働局、公益社団法人福島相双復興推進機構(福島相双復興電民合

፴ 0120-910-1

E-mail info.fukushima@bizreach.co.jp (24時間受付)

「こんな求人ない?」「履歴書の書き方が分からない」「実際に面接に行ってみたい」など、 まずは応募事務局へお気軽にお問合せください!